

## 放射線管理記録

作 業 件 名		1F-1号機原子炉建屋ガレキ撤去業務委託		測 定 項 目		■ $\gamma$ ■ $\beta + \gamma$ ■ スミア   ■ ダスト □ $\alpha$ □ 直接法   □   □		
測 定 場 所		旧事務本館屋上 ■ Y zone   □ R zone □ G zone   □ W zone		測 定 者				
作 業 内 容 (測 定 目 的)		旧事務本館屋上 ガレキ吸引 (上記に伴うサーベイ)		測 定 器		F1-ICWBL-139 F1-GMAD-494 F1-CDS-091		
測 定 日 時		2020 年   1 月   22 日   11 時 45 分 ～		防 護 装 備		不織布カバーオール+全面マスク+ゴム手袋(二重)		
測定種別	空間線量当量率		表面線量当量率		表面汚染密度		ダスト測定結果	
	( $\gamma$ )	( $\beta + \gamma$ )	( $\gamma$ )	( $\beta + \gamma$ )	( $\alpha$ )	( $\beta$ )	( $\alpha$ )*	( $\beta$ )
最大値	0.18	0.21	0.050	0.10	-	3.65E+00	-	<1.21E-05
単位	mSv/h	mSv/h	mSv/h	mSv/h	Bq/cm <sup>2</sup>	Bq/cm <sup>2</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>

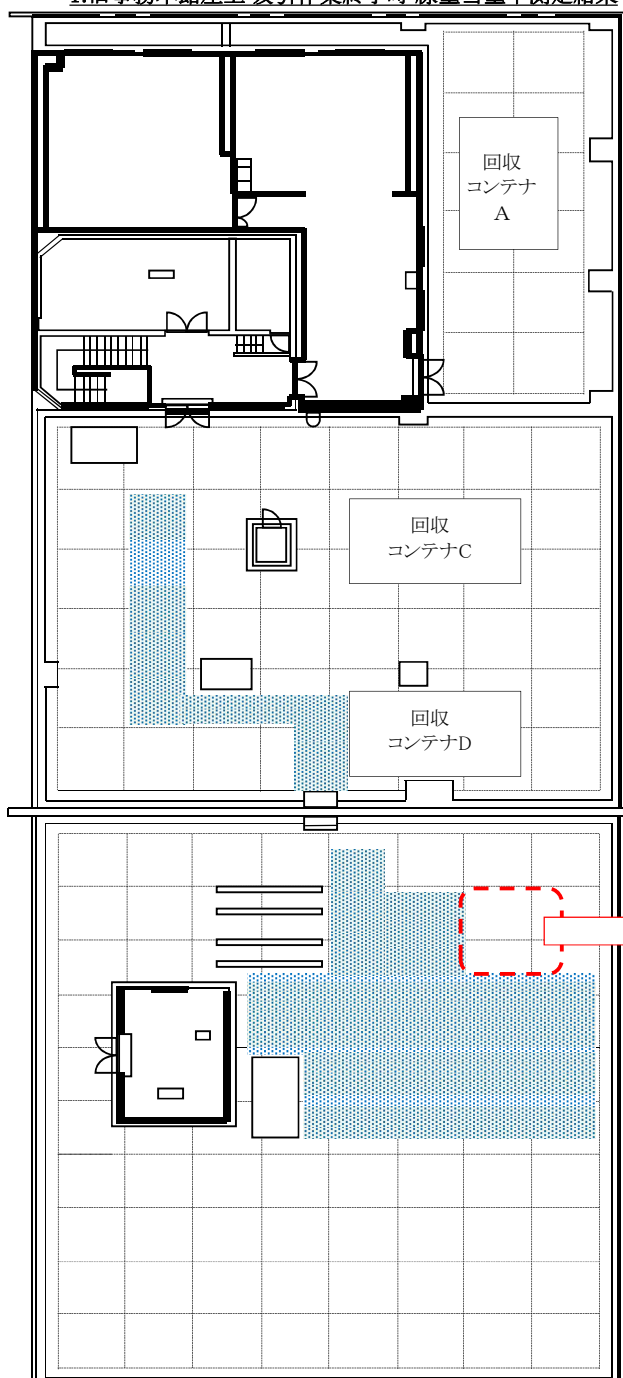
×:空間線量当量率(mSv/h)

⊗:表面線量当量率(mSv/h)

▲:空气中放射性物質採取箇所 (No.):スミア採取ポイント



## 1.旧事務本館屋上吸引作業終了時線量当量率測定結果



線量当量率測定

測定器	F1-ICWBL-139
単位	mSv/h
測定結果	図中参照
凡例	$\gamma / \beta + \gamma$

:吸引機作業エリア範囲

:吸引作業完了範囲

×0.10/0.13	×0.18/0.21
⊗0.045/0.065	⊗0.050/0.10
×0.10/0.11	×0.17/0.19
⊗0.040/0.050	⊗0.050/0.060

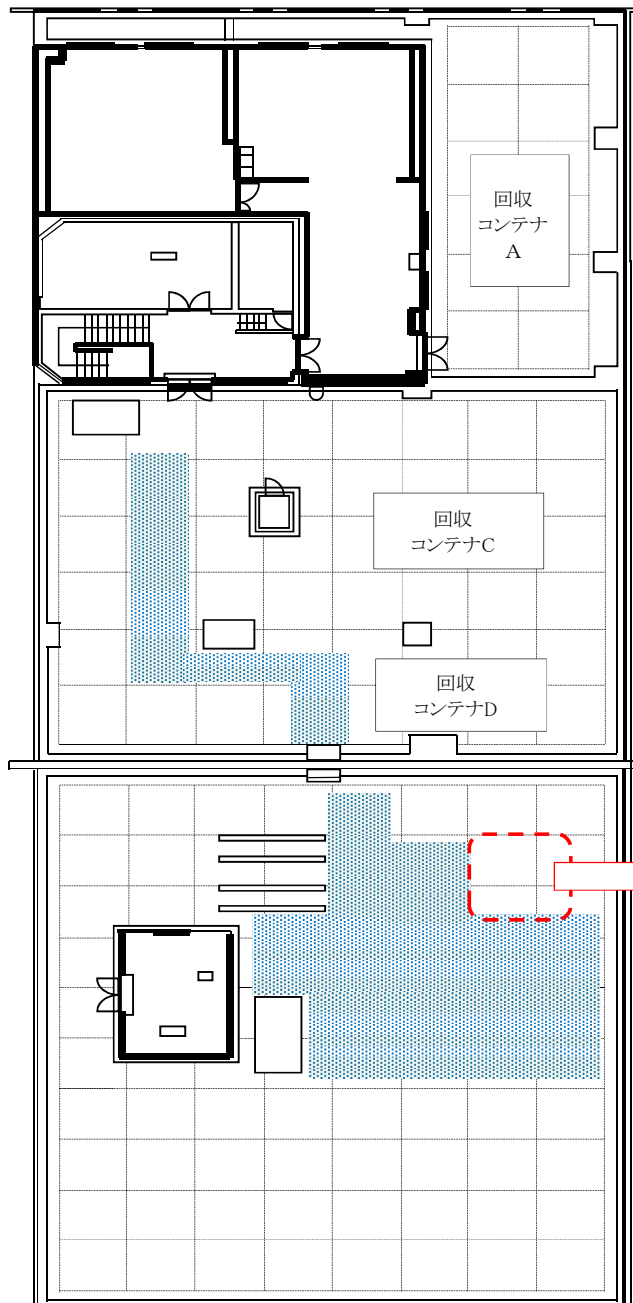
×:空間線量当量率(mSv/h)

⊗:表面線量当量率(mSv/h)

▲:空気中放射性物質採取箇所 (No.):スミア採取ポイント



## 2.旧事務本館屋上吸引後 表面汚染密度測定結果



:吸引機作業エリア範囲

:吸引作業完了範囲

表面汚染密度測定 (間接法)

測定器	F1-GMAD-494
機器効率	29.7 %/2 $\pi$
時定数	(BG) 30s (試料) 10s
換算定数	2.81E-03 Bq/cm <sup>2</sup> ・min <sup>-1</sup>
B	100 cpm
検出限界計数率	75 cpm
検出限界値	2.11E-01 Bq/cm <sup>2</sup>

表面汚染密度測定結果

No	スミア採取ポイント	Gross(cpm)	Net(cpm)	Bq/cm <sup>2</sup>
①	吸引後床面	400	300	8.43E-01
②	吸引後床面	1400	1300	3.65E+00
③	吸引後床面	300	200	5.62E-01
④	吸引後床面	800	700	1.97E+00

作業件名 1F-1号機原子炉建屋ガレキ撤去業務委託

測定日時 2020 年 1 月 22 日 11 時 45 分 ～

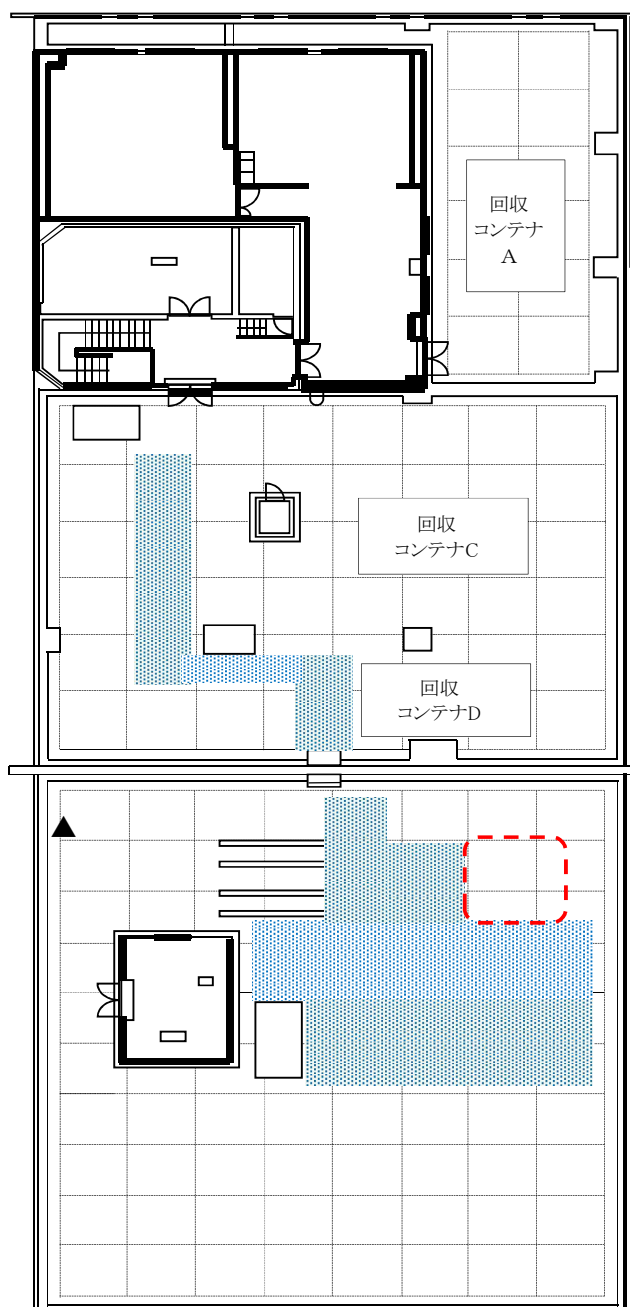
×:空間線量当量率(mSv/h)


⊗:表面線量当量率(mSv/h)


▲:空气中放射性物質採取箇所 (No.):スミア採取ポイント



## 3.旧事務本館屋上作業前・中・後 空气中放射性物質濃度測定



 :吸引機作業エリア範囲

 :吸引作業完了範囲

## 空气中放射性物質濃度測定

測定器	F1-CDS-091	F1-GMAD-494
機器効率	29.7 % $2\pi$	
時定数	(BG) 30s (試料) 10s	
換算定数	1.61E-07 Bq/cm <sup>3</sup> ・cpm	
B	100 cpm	
検出限界計数率	75 cpm	
検出限界値	1.21E-05 Bq/cm <sup>3</sup> ・cpm	
風向き	南	

## 空气中放射性物質濃度測定結果(風向:北)

採取ポイント	測定器名	採取時間	積算流量(m <sup>3</sup> )	採取流量(l/min)	Gross(cpm)	Net(cpm)	Bq/cm <sup>3</sup>	作業内容
▲	F1-CDS-104	11:46 ~ 12:06	2.788	139.4	150	50	<1.21E-05	作業前環境確認
▲	F1-CDS-104	12:40 ~ 13:00	2.788	139.4	160	60	<1.21E-05	吸引作業中
▲	F1-CDS-104	16:05 ~ 16:25	2.788	139.4	120	20	<1.21E-05	吸引作業終了時

## 放射線管理記録

作業件名	1F-1号機原子炉建屋ガレキ撤去業務委託	測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta + \gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> スミア <input type="checkbox"/> $\alpha$ <input type="checkbox"/> 直接法 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ダスト
測定場所	旧事務本館屋上 <input checked="" type="checkbox"/> Y zone <input type="checkbox"/> R zone <input type="checkbox"/> G zone <input type="checkbox"/> W zone	測定者	
作業内容 (測定目的)	旧事務本館屋上 ガレキ吸引 (上記に伴うサーベイ)	測定器	F1-ICWBL-90 F1-GMAD-494 F1-CDS-091
測定日時	2020 年 1 月 27 日 11 時 48 分 ~	防護装備	不織布カバーオール+全面マスク+ゴム手袋(二重)
測定種別	空間線量当量率		表面線量当量率
	( $\gamma$ )	( $\beta + \gamma$ )	( $\gamma$ ) ( $\beta + \gamma$ )
最大値	0.35	0.35	0.15 0.25
単位	mSv/h	mSv/h	mSv/h
			表面汚染密度
	( $\alpha$ )	( $\beta$ )	( $\alpha$ )*
	-	8.15E+00	-
	Bq/cm <sup>2</sup>	Bq/cm <sup>2</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>
			ダスト測定結果
			( $\beta$ )
			<1.21E-05
			Bq/cm <sup>3</sup>

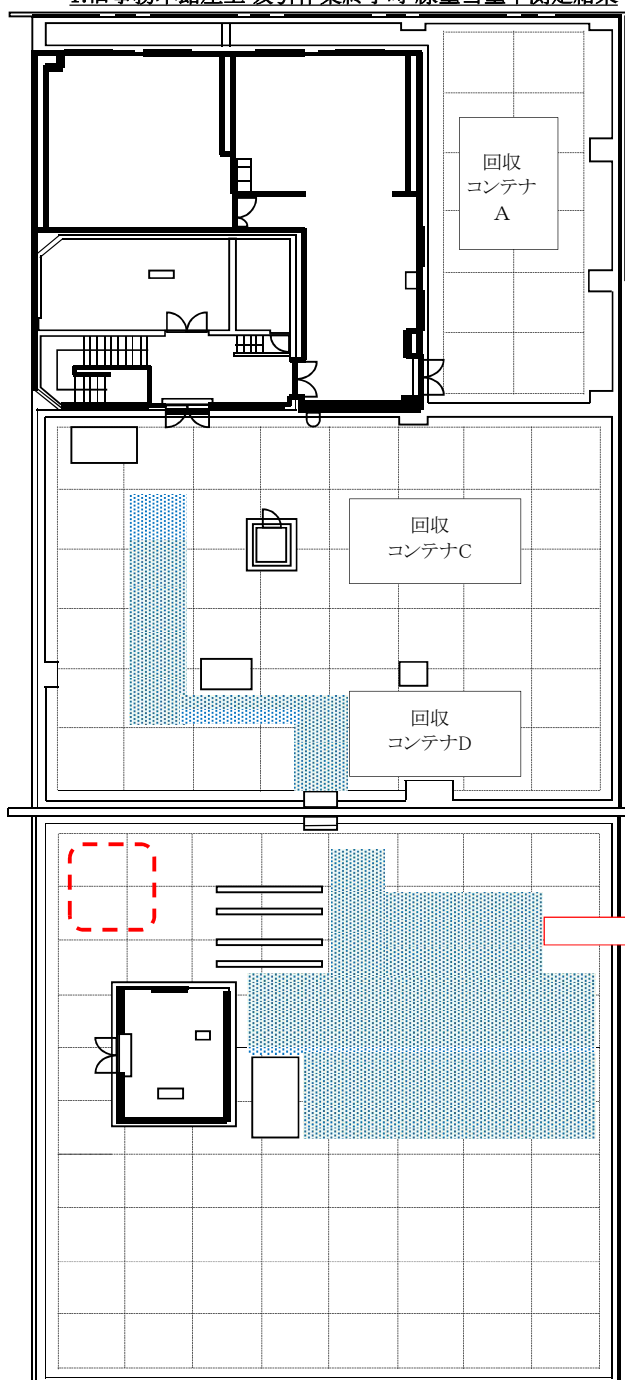
×:空間線量当量率(mSv/h)

⊗:表面線量当量率(mSv/h)

▲:空气中放射性物質採取箇所 (No.):スミア採取ポイント



## 1.旧事務本館屋上吸引作業終了時線量当量率測定結果



## 線量当量率測定

測定器	F1-ICWBL-90
単位	mSv/h
測定結果	図中参照
凡例	$\gamma / \beta + \gamma$

:吸引機作業エリア範囲

:吸引作業完了範囲

×0.16/0.17	×0.23/0.25
⊗	⊗0.11/0.18
0.11/0.11	
×0.20/0.23	×0.35/0.35
⊗	⊗0.15/0.25
0.090/0.13	

※ルーフブロックのみ吸引  
土・砂は残ったままの状態にて測定を実施。

作業件名 1F-1号機原子炉建屋ガレキ撤去業務委託

測定日時 2020 年 1 月 27 日 11 時 48 分 ～

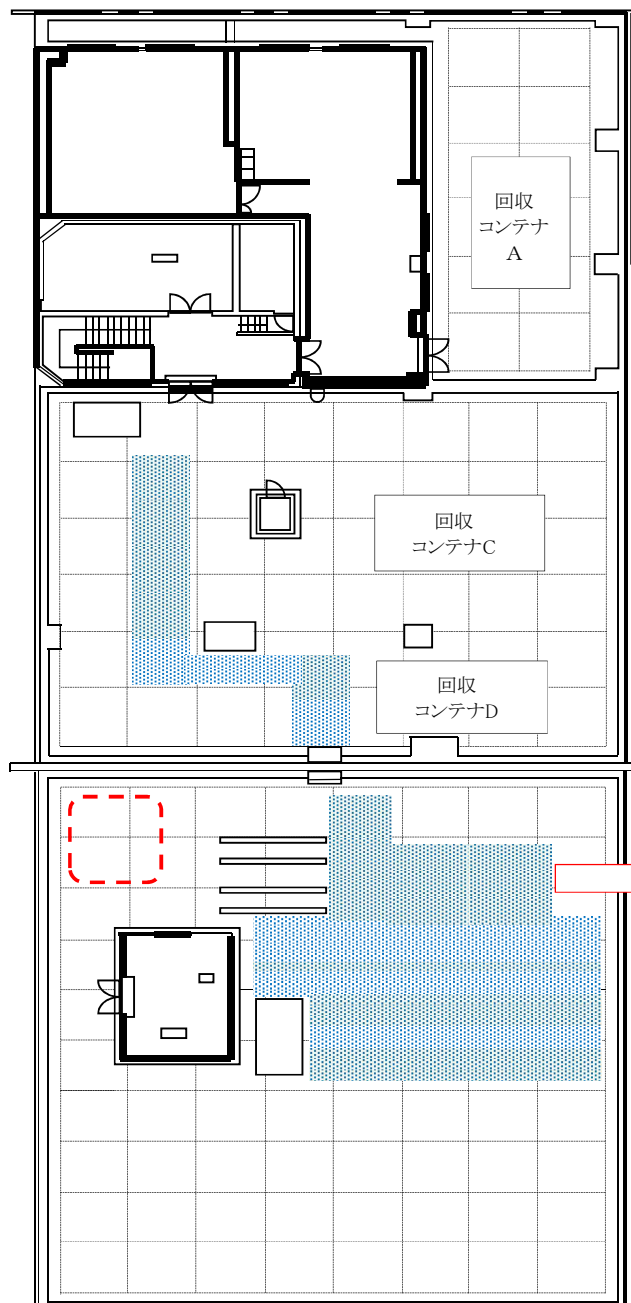
×:空間線量当量率(mSv/h)

⊗:表面線量当量率(mSv/h)

▲:空气中放射性物質採取箇所 (No.):スミア採取ポイント



## 2.旧事務本館屋上吸引後 表面汚染密度測定結果



:吸引機作業エリア範囲

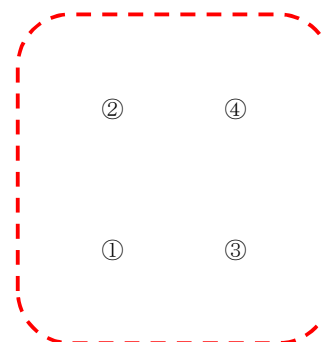
:吸引作業完了範囲

## 表面汚染密度測定 (間接法)

測定器	F1-GMAD-494
機器効率	29.7 %/2 $\pi$
時定数	(BG) 30s (試料) 10s
換算定数	2.81E-03 Bq/cm <sup>2</sup> ・min <sup>-1</sup>
B G	100 cpm
検出限界計数率	75 cpm
検出限界値	2.11E-01 Bq/cm <sup>2</sup>

## 表面汚染密度測定結果

No	スミア採取ポイント	Gross(cpm)	Net(cpm)	Bq/cm <sup>2</sup>
①	吸引後床面(残土・砂)	1000	900	2.53E+00
②	吸引後床面(残土・砂)	3000	2900	8.15E+00
③	吸引後床面(残土・砂)	2000	1900	5.34E+00
④	吸引後床面(残土・砂)	3000	2900	8.15E+00



※ルーフブロックのみ吸引  
土・砂は残ったままの状態での測定を実施。

作業件名 1F-1号機原子炉建屋ガレキ撤去業務委託

測定日時 2020 年 1 月 27 日 11 時 48 分 ～

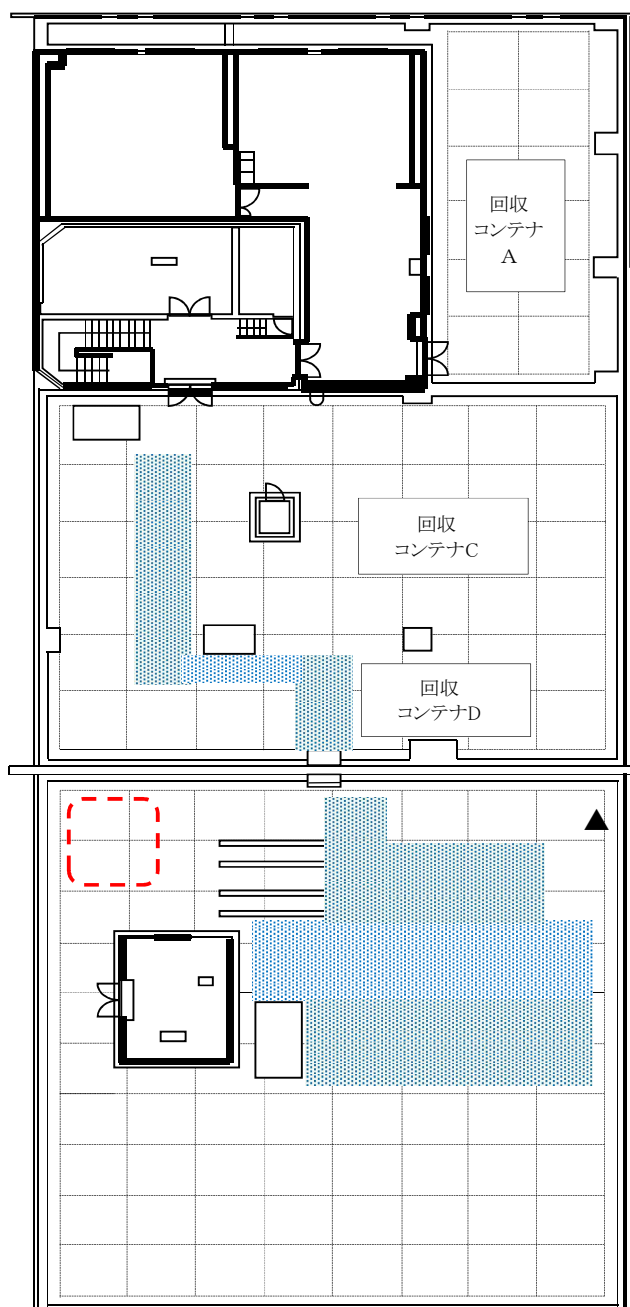
×:空間線量当量率(mSv/h)

⊗:表面線量当量率(mSv/h)

▲:空气中放射性物質採取箇所 (No.):スミア採取ポイント



## 3.旧事務本館屋上作業前・中・後 空气中放射性物質濃度測定



:吸引機作業エリア範囲

:吸引作業完了範囲

## 空气中放射性物質濃度測定

測定器	F1-CDS-091	F1-GMAD-494
機器効率	29.7 % $2\pi$	
時定数	(BG) 30s (試料) 10s	
換算定数	1.61E-07 Bq/cm <sup>3</sup> ・cpm	
B	100 cpm	
検出限界計数率	75 cpm	
検出限界値	1.21E-05 Bq/cm <sup>3</sup> ・cpm	
風向き	北	

## 空气中放射性物質濃度測定結果(風向:北)

採取ポイント	測定器名	採取時間	積算流量(m <sup>3</sup> )	採取流量(l/min)	Gross(cpm)	Net(cpm)	Bq/cm <sup>3</sup>	作業内容
▲	F1-CDS-091	11:48 ～ 12:08	2.788	139.4	130	30	<1.21E-05	作業前環境確認
▲	F1-CDS-091	12:42 ～ 13:02	2.788	139.4	100	0	<1.21E-05	吸引作業中
▲	F1-CDS-091	16:05 ～ 16:25	2.788	139.4	150	50	<1.21E-05	吸引作業終了時